

介護相談員だより

介護相談員表彰

現在、コロナウイルス感染拡大防止のため施設の訪問を休止している介護相談員事業ですが、保土ケ谷区の介護相談員として活躍されている、**木村 美江子様**が**15年表彰**、**井上 文子様**が**5年表彰**を受けました。

お二人に相談員になったきっかけ、思い出に残っている出来事等、お話を伺いました。

- 1 介護相談員になったきっかけ
- 2 今までの活動の中で思い出に残っている出来事
- 3 介護相談員になってよかったこと、訪問時に心掛けていること
- 4 メッセージ



木村 美江子様

「訪問は、まずあいさつから話のきっかけを作り相手の話を聴くことを心掛けています」

- 1 高齢者・障害者、学校等のボランティアを行う中、民生委員の会合時に紹介されました。
- 2 施設の行事に利用者の方の家族の方が参加された時は、利用者の普段では見られない笑顔と嬉しさを感じます。
また、施設内に展示されている作品展示の話題も元気の素になっています。毎月報告することを楽しみに待っています。
- 3 毎回の訪問を快く待って受け入れてくださり、悩みや昔話、相談もしてくれます。
訪問は、まずあいさつから話のきっかけを作り相手の話を聴くことを心掛けています。公正公平な目で見、理解をしたいと心掛けています。
- 4 コロナ禍で、スタッフの方も大変だと思います。
行事や写真、作品等は利用者の方の喜びになっていると思います。
何かお役に立てればと思っています。



井上 文子様

「訪問を待っていられた方の笑顔を目にして感動します。利用者の方とのふれあいを大事にしています。」

- 1 地区の民生委員終了に伴い、介護相談員募集を知り、応募しました。
- 2 利用者との施設担当の対応が想像以上に大変なことを、訪問をする度に感じていました。
利用者の皆様の行動の違い、心身の変化など、現場での毎日の対応を学びました。
- 3 施設長との一か月間での利用者の皆様の様子を確認、その後利用者の方の各部屋に移動し、声掛けをしています。
訪問を待っていられた方の笑顔を目にして感動します。利用者の方との心のハグ、ふれあいを大事にしています。
- 4 コロナ禍で長期間訪問ができない状態が残念です。
利用者の皆様の姿が一日でも早く確認できることを願っています。